

嘉麻市社協だより

No.151

発行日/2018.9.1

えがぁ

負けないぞー

漆生に伝わる伝統行事
～まさめ相撲～



はっけよーい
のこったー!



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751

FAX 0948-83-8005

<http://kama.syakyo.com>

✉ info@kama.syakyo.com

 <https://www.facebook.com/kama.swc>

奇稿

災害復旧ボランティア活動に参加して

大分県日田市在住 原田耕二

西日本を中心に甚大な被害をもたらした平成30年西日本豪雨災害で犠牲になられた

昨年発生した九州北部豪雨災害からです。

道の駅の従業員さんが差し入れて下さったおにぎりのありがたみは今でも忘れません。

方々のご冥福をお祈りするとともに、被災した方々にお見舞い申し上げます。

私が災害復旧ボランティア活動を行うようになったのは

翌朝、自衛隊の救助活動のおかげで嘉麻市ルートで脱出できましたが、朝倉市や故郷の被災した光景は目を疑うものでした。

私が災害復旧ボランティア活動を行うようになったのは

年関東で生活していましたが、進学を機に故郷を離れ、長年関東で生活していましたが、その間に東日本大震災も体験しましたが、当時は子供たちに関わるボランティア活動に

時間を取られ、災害復旧ボランティア活動に出向くことはありませんでした。自ら被災し、多くの方々の救いの手に支えられたこともあり、居を日田市に移して災害復旧のお手伝いをさせて頂くこととし、それから一年間、日田の災害復旧ボランティア活動を行ってきました。



昨年7月5日、帰省途中の英彦山付近で豪雨に見舞われ、なんとか辿り着いた東峰村の道の駅で一夜を過ごしました。待避中、

総じての被災規模が小さいことでマスコミに取り上げられる機会もほとんどありませんでしたが、被災規模の大小に拘わることなく、被災された方々に優劣をつけることなど決してできません。

き、皆さんにはただただ感謝するばかりです。地元社協さんは、運営に関して民間災害関連団体や他地区社協のサポートを受けずにスタッフ全員で獅子奮迅の活躍。現調、配員調整、ボラさん対応、資機材管理、時に現場での作業。災害復旧への熱意にはとにかく頭が下がりました。

延べ12日間のお手伝い、ただけお役にたてたのかは判りませんが、担当させて頂いた現場は出来る限りの対処を行いました。日田で一緒に汗を流した仲間も数多く駆けつけて頂き、新たに知り合えた素敵な方々との出逢いもありました。

泥まみれになりながらも、完了した時の達成感を共有でき、皆さんにはただただ感謝するばかりです。地元社協さんは、運営に関して民間災害関連団体や他地区社協のサポートを受けずにスタッフ全員で獅子奮迅の活躍。現調、配員調整、ボラさん対応、資機材管理、時に現場での作業。災害復旧への熱意にはとにかく頭が下がりました。



本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/>

出前講座

2018年7月18日(水)

尾浦第一行政区で出前講座を行いました。予定は、介護保険制度についてでしたが西日本豪雨の発生から日も浅く、行政区内でも土砂崩れが発生したため、みなさんで防災をテーマに話し合いました。

水がどのように流れてどこの溝が溢れたか、防災無線が聞こえたか、空き家や草の伸びた住宅がどこにあるのかなど意見を出し合いました。その後避難準備から勧告、指示に変わっていく中で、みなさんは何をしていたのか、避難する際に必要なものなどを共有しました。

また、いざという時にみなさんが避難できるよう集会所の利用を望む声がたくさんあり、区長さんからは連絡先や手順などを教えてもらい、安心された様子でした。



嘉穂の里ふれあいキャンプ

2018年8月9日(木)

8月9日、社会福祉法人嘉穂の里で行われたふれあいキャンプにおじゃましました。市内の小学生を対象に、地域交流の一環としてスタートした1泊2日のキャンプは、3年目を迎えました。

職員さんの「施設のことを知ってもらいたい。夏休みの楽しい思い出にしたい」との思いが詰まっており、みんなで夕食のカレーや写真立てを作ったり、キャンプファイヤーをしたりと、楽しい企画がいっぱいでした。

初めて会った子もいましたが、あっという間に仲良くなり、水遊びやブランコなど、パワフルな遊びを繰り広げ、施設には元気な声が響いていました。



コラム交差点

嘉麻市に帰って感じたこと

大学卒業後、東京に住んでいましたが、このまま親族のいない場所で老いていくのだろうかと考えることがありました。また、地元の友人や親戚の慶弔行事の知らせを受けたり、参加したりするうちに、故郷で暮らしたいと考ええるようになり、2年程前に帰省しました。

離れた故郷に戻って変わったと感じることは、スマートフォンやSNSの浸透により、首都圏との情報格差がなくなってきたことです。このことにより、地元にながら、自ら全国に情報を発信できるようになったため、自分をアピールするチャンスが増えたと思います。

一方、昔と変わらず自然の多さを生かした行事や仕事が続いており、故郷の懐かしさを感じています。

東京との違いとして、一番に感じたことは交通手段です。嘉麻市での主な交通手段が車であるのに対し、東京では電車やバスが便利に利用でき、自転車や徒歩で移動することも多いため、運動量も今より多かったと感じました。また、バスに関しては、市が5路線7ルートを運営しており、料金も一律100円でしたので、交通費も低額でした。このことが嘉麻市でも実現すれば、高齢者や学生にとって便利な移動手段になり、みなさんが住み慣れた土地で元気に生活できるのではないかと考えています。

もし、地元を離れて生活してみたいと思う方がいれば、一度行ってみることをおすすめします。地元を離れてみると、地元や他の土地の良いところがわかり、新たなことを知ることができます。そして、他の土地で得たことを地元で発信すれば、地元にも良い刺激を与えることになるのではないかと思います。

(山野 藤春 昂)



大塚 ハツエ さん

ひ孫が16人になりました。お盆には孫やひ孫たちが帰ってくるのが楽しみです。

近くのお店や近所のお友達のところに遊びに行きます♪

6月号には妹が同じコーナーに載っていてうれしかったです。

おおのひとみ

大野 仁実 さん

ボランティア活動はとてもハードでしたが、休憩時間に他のボランティアさんからいろいろな話を聞くと、「きつい」よりも「楽しい」気持ちがり、また来たいと思えました。

一日が無事に終わった時の「お疲れさまでした」の一言で笑顔になりました。



「毎年恒例の陶芸教室」

天神むつみ会

上山田住民ホールで行われたサロンにおじゃましました。毎年恒例行事となっている陶芸教室。1年目は、箸置きづくりから始まり、回数を重ねるごとに、お皿や花瓶、茶碗に湯のみなど、みなさん思い思いの作品を作られています。

まずは型作りをして、次回の教室で釉薬をつけて焼きます。真剣な表情と手つきですが、「それじゃ、焼酎がこぼれるよ」「先生こっちこっちー」などの声が行き交い、和気あいあいとした雰囲気でした。

後日、出来上がった作品を見せてもらいに伺うと「これは綺麗にできとるやない」「先生みたいに上手くできんやった。先生はさすがやね」と、笑いを交えながら感想を話されていました。

作品は、文化祭で展示されるそうです。



10月の総合相談

法律相談

と き：10月4日(木) 13:00～16:00

ところ：山田ふれあいハウス

※法律相談は予約が必要です。先着順ですので、お早目にお申し込みください。



心配ごと相談

と き：10月10日(水) 13:00～15:00

と き：10月24日(水) 13:00～15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。

山田ふれあいハウスからの お知らせ

囲碁大会参加者募集

囲碁大会を開催します。どなたでも参加できますので、ぜひお申し込みください。

場 所 山田ふれあいハウス
日 時 平成30年10月13日(土)
9時から15時30分まで

対局形式 変則リーグ戦で、対局は4回戦とします。また、対局時間は1時間以内とし、目数で勝敗を決定します。なお、段級によってハンディを付けます。

参加費 500円
参加定員 12名(先着順)
募集期間 平成30年9月16日(日)から
10月1日(月)まで

申込方法 電話、来所にて受け付けます。

申し込み・問い合わせ先 山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

①自筆証書遺言の改正 自筆証書遺言でも、財産目録は「手書き」する必要がなくなります。

②遺言書保管制度 自筆証書遺言を法務大臣が指定する法務局で保管する制度が創設されます。さらに法務局で保管された自筆証書遺言については、家庭裁判所の検認は不要となります。

③配偶者居住権 これまで被相続人所有の建物に無償で居住してきた配偶者のために、

7月に相続制度を改正する法律が成立しました。改正のあらましを、嘉麻市漆生出身で、現在は、春日市で成年後見人として活躍されている司法書士の山田剛やまだこうじさんに教えていただきました。



配偶者居住権が創設されます。これには、当然に成立し、比較的短期間に限って認められる「配偶者短期居住権」と、相続人間の合意や家庭裁判所の審判で成立し、原則として配偶者の終身の間認められる「配偶者居住権」があります。

④遺産分割における配偶者保護 婚姻期間が20年以上の夫婦の一方が他方に居住用不動産を遺贈又は贈与した場合、原則としてこれを相続財産に加算しないこととなります。

⑤預貯金の仮払い 各相続人に、単独で遺産分割前の預貯金の払戻しが認められることとなります。

⑥相続人以外の親族の特別寄与料 相続人ではない親族が被相続人の療養看護などに特別の貢献をして、これによって相続財産が維持又は増加したときは、その親族に特別寄与料が認められるようになります。この改正は半年後(①)、一年後(④、⑤、⑥)、一年後(②、③)と、三段階に分けて施行されます。



ボランティア グループの紹介

このコーナーでは、かまボランティア・市民活動センターに登録されているグループや団体の活動内容等を紹介します。

今号は、マンドリン・デュオ・ナガトミの^{ナガトミヒロノリ}永富弘規さん、^{ナガトミハルコ}永富治子さんご夫婦に話を伺いました。

Q.活動を始めたきっかけを教えてください。

A. 母親の入院先でマンドリンを演奏したとき、たくさんの方々に喜んでもらい、いろいろな所で演奏したいと思うようになりました。

Q.活動内容を教えてください。

A. 嘉麻市、飯塚市にある社会福祉施設やサロンなどで演奏しています。演奏時間は30分から1時間。みんなが楽しめる童謡や歌謡曲を中心に、マンドリンがきれいに聞こえる曲を選んでいきます。

Q.この活動をしていて良かったと思う時はどんな時ですか？

A. 演奏を聴いた人が、元気になる瞬間を感じるときです。音楽を通じて人々が変わっていく姿をみると、改めて音楽の素晴らしさを実感します。



Q.今後の目標を聞かせてください。

A. 誰かの気持ちを、明るくしたり、閉じこもりがちの方が外に出てみようと思えるきっかけになれるような音楽を奏でていきたいと思っています。依頼をお待ちしています。

ボランティア募集情報

社会福祉法人 筑豊会 通所介護 うすいの里

利用者の話相手やレクリエーションのお手伝いをしていただける方を下記のとおり募集しています。

記

日 時 月曜日～土曜日(14時～15時)
※活動可能な曜日で構いません。

場 所 うすいの里
(嘉麻市下臼井1055)

内 容 レクリエーションや行事のお手伝い、
話し相手など

備 考 動きやすい服装をお願いします。

問い合わせ かまボランティア・市民活動センター
0948-42-0751

イベント情報

ふれあいまつり

サンコーケアライブでは、毎年「ふれあいまつり」を開催しています。まつりのテーマは「笑顔 広がる秋まつり」です！

舞台での催し物・露店・ゲームコーナー・入居者様の作品展示・バザーコーナー等地域の皆様・入居者様、沢山の方々に楽しんで頂ける内容を企画しました。今年の舞台は迫力満点です。是非是非、ふれあいまつりにご来場下さい。

日 時 10月13日(土) 11:30～13:00

場 所 ライフステイいなつき駐車場
(嘉麻市鴨生94番地19)

問い合わせ 0948-42-7585(担当:フジシマ)



しなやかに生きるための
マインドフルネス
自分を休ませる練習

著者 矢作直樹さん
出版 文響社



最近、癒しやストレス解消の方法として「マインドフルネス」という言葉をよく聞きます。「マインドフルネス」とは「今この瞬間に気づいている状態」です。歩いているときや、家事をしているときなど、どんなときでも、ひとつひとつの日常生活動作に心を込めて、今に集中して、心とからだがりラックスできていく状態をいいます。

この本では、救急医療の現場で生と死を見つめてきた著者

が、ストレスを抱えて生きる人に向けて、無理のない「ありのまま」の生活するコツを紹介しています。

やわらかな心を取り戻すには、自分や他人を「褒める」こと。歩くときは「どこかへ行くため」に歩くのではなく、体幹を意識し「歩くことを楽しむ」。このように、決して難しいことではなく、少しの意識でだけでも簡単にできる方法が書かれています。

「老老介護」や「過労死」等の言葉をよく聞くようになった今、仕事や日常生活で頑張り過ぎてしまう方、疲れを感じている方が多くいらつしやいます。忙しくすると、多少の無理をすることが当たり前になりがちですが、この本を読んで「大切なことは、無理をしてまで頑張ることではない」と気付かされました。

自分や「今この瞬間」を大切にすることに少し意識を向けるだけで、気持ちに余裕をもたらし、他者へも良い影響を与えると感じました。(やひろ)

炭 鋳 の 記 憶

下白井にお住まいの坂本弘之さんは、炭鋳40数年間働いていた時の道具や資料を保存し、自宅の一部を資料館として開放されています。今回は、漆生鋳業所での話を伺いました。

坂本さんは、選炭機場で石炭の選定や洗浄をされ、機械の調子が悪くなると修理をすることもあったそうです。

漆生鋳業所では、当時ここでしか採れなかった燻石(無石炭)を採掘していました。燻石は、



無石炭

カーボンを70パーセント以上含んでおり、金属還元剤や特殊カーボンの原料、セメント原石の石灰水分解剤など様々な用途があり、大変重宝されていました。

坂本さんは、「日本で唯一の燻石採掘作業に携われたことを今でも誇りに思っています。嘉麻市には、炭鋳で栄えた歴史があることを多くの人に知ってもらいたいです。」と、力強く話されました。



漆生鋳業所の選炭機(昭和48年)

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

7月1日～7月31日受付分

◆香典返し

【熊ヶ畑第二】

親族 伊藤 千輝 様
故 藤 エノ 様

【筑紫】

親族 豊田 敏雄 様
故 田 久美子 様

【大橋】

親族 森 佐代子 様
故 森 善郎 様

【中央】

親族 長野 芳一 様
故 野 アキエ 様

【上牛隈】

親族 平田 ユキ子 様
故 藤 忠男 様

親族 江藤 千代子 様
故 藤 大典 様

親族 江藤 美千子 様
故 島 勝美 様

親族 島田 美千子 様
故 島 勝美 様

【嘉穂才田】

親族 井手 国昭 様
故 井 国昭 様

【屏】

親族 井手 弘己 様
故 井 弘己 様

【上白井下】

親族 福田 隆一 様
故 福 隆一 様

【光代】

親族 西 惠市 様
故 西 二三子 様

◆一般寄附

【猪之鼻】

吉竹 孝二 様

【市外】

嘉穂の名水愛好者一同 様

◆物品寄附

【子育てリユース】

鴨生第一 大和 亨子 様
漆生東 坂本 真一 様

【アルミ缶】

漆生本村 匿名 様
漆生南部 西田 幸子 様

東岩崎 松岡 光 様

西岩崎 山倉 正志 様

口春 篠崎 哲郎 様

漆生東 匿名 様

百々谷 日野 和義 様

尾浦第二 下川 明世 様

天神 愚童の庵 様

中央 佐藤 康孝 様

石ヶ崎シニアクラブ 渡辺 楠 様

石ヶ崎シニアクラブ 渡辺 楠 様

大隈 匿名 様

大隈 匿名 様

中益 匿名 様

上牛隈 匿名 様

上牛隈 匿名 様

小西モーターズ 鴨尾第二ふれあい いきいきサロン 鴨生第一行政区

【リングプル】

西岩崎 匿名 様

口春 高木久美子 様

山野第二 古賀 絹江 様

枝坂 白土 綾乃 様

枝坂 森 章枝 様

上白井上 匿名 様

下白井東 匿名 様

下白井西 匿名 様

尾浦第二 下川 明世 様

神幸 村上 曙生 様

天神 愚童の庵 様

下宮 三好 邦央 様

木城 樋口えり子 様

木城 田中ミチ子 様

石ヶ崎シニアクラブ 渡辺 匿名 様

上牛隈 江藤千代子 様

小西モーターズ 匿名 様

社会福祉法人嘉穂の里 匿名 様

ダスキン嘉穂 グランドベルズ飯塚 匿名 様

ダスキン嘉穂 グランドベルズ飯塚 匿名 様

【吉切手】 山野第二 古賀 絹江 様

石ヶ崎シニアクラブ 渡辺 匿名 様

九郎原 匿名 様

嘉麻市福祉事務所 保護課 庶務係 匿名 様

グラントベルズ飯塚 匿名 様

【アルミ】 塚原 京子 様

古河 塚原 京子 様



嘉麻市下山田9-1
☎ (0948) 52-1212

指定葬祭場紹介

セレモニーホール
おおつか

それぞれの悲しみを優しさに、故人との別れにふさわしい大切な人との永久のお別れに、悲しみを「やすらぎへの旅立ち」と、スタッフ一同一丸となってお手伝いさせていただきます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に7ヶ所あります。

- かは葬祭 あじさい会館…………… ☎62-5566 飛鳥会館 南斎場…………… ☎42-4241
- 善光会館 稲築会場…………… ☎83-5000 きど葬祭やまさ碓井斎場…………… ☎62-4499
- おかむら葬祭岡村会館…………… ☎42-4420 いすや会館…………… ☎57-4444

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

7月1日～7月31日受付分

〈稲築才田〉林照子

〈鴨生第二〉松田裕美子

〈上牛隈〉小野智二

〈漆生本村〉漆生本村行政

〈漆生中央〉漆生中央8組(3口)

〈山野第二〉森山博、石川武士、

立藤力ズ子、永富健二、谷口

満、辻田篤志、森山清志、山内

龍二、岩田孝利、荒木龍一、熊

谷香壽美、熊谷萌、藤井治昭、

松本茂利人、松田博文、田村

強、中村俊治、桑野健次、仲西

朋子、松浦繁幸、柴田英生、辻

田正治、森原正博、田中誉志

貴、白川秀、澁谷茂、平井義

久、松岡ミチ子、藤原哲資、有

田栄公、西田修、平野嘉代、石

井直彦、本田貢、高松富夫、大

塚秀樹、福光一男、福澤清隆、

福澤下毛五、福澤秀久、山本千

鶴、西田始、永富康嗣、永富信

茂、福光ワカ、辻田廣光、伊藤

和子、高木和夫、永富和代、石

川栄子、飯田弘子、角谷正美、

半田亮司、金澤平一、山本清

人、河村紀生、田坂勝信、梅井

史枝、満島憲幸、松岡政明、平
嶋豪、佐田スエ子、松岡憲治、
荒木哲也、瓜生津津成、西田
雅彦、有田公司、竹井テルコ、
原田敏子、西田宏、早川秀一、
新原正信、藤村節子、石川紀

子、太田札五郎、長嶋正雄、熊
谷國夫、石崎慶太、峰啓子、瓜
生義晴、馬淵順二、中原千歳、
西田笙子、石川國子、藤春信

子、和田正行、藤春久雄、藤春
眞祐、山下光吉、大井盛政、山
内日出男、大井慎二、楠田元

徳、山本多喜夫、牧節子、永水
悟、赤間陽一、國米スエ子、山
野第一26組(3口)、渡辺一夫、

宮崎省吾、平畑和也、麻生昌
彦、金丸賢二、太田孝、片岡
晋、永富正、吉田徹、片峰伸

二、松岡央、半田信博、永田紀
美代、坂田恵太、境茂俊、三苦
正、樋口誠、金堀隆、野見山勇

雄、坂田直樹、木下幸治、青野
廣太、坂口栄喜、吉田裕二、林
雅幸、村尾正人、迎田進、東弘

子、中山惇、櫛野栄次、鬼塚勝
成、東精一、永水憲一、西堀サチ
子、尾造千鶴子、林修次、足立

文昭、赤坂好紀、井上純一、山
本修、末永剛、水脇さつき、辻
田鈴子、緒方輝躬、安藤三津

子、西田安宏、西田利幸、和田
英樹、安川明、田中澄夫、砂川
由弘、西原正俊、大坪正明、山
本喜久雄、平山一、永富康弘、

荒木しのぶ、赤坂友邦、山下正
志、山本幸俊、朝倉ツヤ子、辻
田茂、高木博志、松岡傳、水間

徳子、飯塚信用金庫稲築支
店、甲斐節子、田中泰廣、伊藤
智洋、水上里己、西田恵子、吉

田晃、古賀正彦、河野治記、橋
田身根男、片岡眞弓、山下豊
子、安藤繁行、熊谷琢磨、福光

禎子、野見山篤、岩崎マチ子、
森山政子、松岡豊香、松本利
秀、鳥井和江、西田春美、坂本

優一、水間義晴、畠中浩二、柴
田利幸、岡松治子、小笠原ヒロ
子、田原純正、市村セツ子、渡

部断、辻田光之
〈樋渡〉藤春幸子、藤春笑子、
花岡スミ子、花岡美代子、藤春

ユキ子、藤春春代、花岡安子、
大谷直美、藤春幸輝、藤春俊
二、竹中亮一、斉藤佐代子、下

田京子、藤春キヨカ、山本ヒフ
ミ、藤春タミ子、藤春五百子、
藤春浪江
〈平第一〉松本俊治、西田公一

山祥弘、永水政子、平祥司、大
山忠男、眞杉チヅル、西田恒義
梶原輝雄、西田久利、永水計
親、永水博、白土恵一、藤原光

一、永水正博、西田家理、永水
民生、永水幸子、永水美法、永
水雅史、西田寛信、篠森鹿夫、

西田義勝、阿部敏子、西田俊
夫、藤崎正昭、西田穂次、小峠
フサエ、中野君子、林トシ子、

岡村勝子、横山秀雄、西田静、
清家正章、野見山昱子、田口
正志、深見隆行、佐竹吉實、高

田久志、井上妙子、永水徳之、
大里陽子、岸昌幸、三浦孝夫、
松下泰子、平第一行政区1組、

平第一行政区9組
〈辻中籠〉高木かつみ、永水修
一、松岡勝利、永水敏光、常藤

文子、永水久喜、平田優男、島
田照子、稗田恭子、後藤一雄、
田中巖、米原太輔、住吉ツル

工、曾我キヨ子、田中エミ子、
手島幸弘、釜堀純子、小林隆
良、永水幸子、松俵義博、永水

米蔵、中並龍夫、永水恭典、中
條凌一、永水元和、穴見英徳、
篠崎賢豪、緒方宏蔵、小林サツ
キ、高木ふじ子、手島隆子、永

田光隆、大山時彦、大山章、大
山ハツ子、曾我秀治、大山利美
水上信子、上提政明、原部千
代美、今宮博美、松岡敦知、藤

崎力ズ子、横谷ツタエ、瀧本貞
子、山平正行、坂田清文、手島
松子、田上義雄、常藤哲司、永

水清子、田代英子、大山フジ
子、大山伸夫、小林善之、永水
秀一、有吉美智代、笹月清香、
國武光成、半田正市

〈熊ヶ畑第一〉広瀬須代子、広
瀬ヤスエ、広瀬澄子、平嶋洋
和、金崎泰、金崎秀敏、大塚由

美子、大里弘子、伊藤千輝、篠
崎悟志、荒木美千代
〈熊ヶ畑第三〉平嶋信美、平島
和範、平嶋利勝

〈百々谷〉龍恒子、鬼塚繁、毛利
栄子、児玉ふみ子、児玉孝幸、
長田京子、中園晴美、中園千

歳、小田博幸、龍美恵子、古賀
マサ子、田中清美、西村久美
子、西村信也、西芳子、武本ハ
ルエ、長田英之

〈尾浦第二〉下川明世、西豊
子、坂井幸智子
〈中央〉大塚雪子、三浦一恵、明
石睦則、松岡孝、佐伯久美子、
坂本玉子、須崎醇二、佐伯憲

子、高倉香代子、大田信、浅田
美代香、井本寿子、赤坂良子

ふるさとへの
手紙
No.151



大分市在住
まつばら よしえ
松原 芳江さん
(旧姓 松岡)
馬見出身



私のふるさと

私は、昭和25年に馬見で生まれ、18歳で福岡市に出て、夫の転勤で松山市、熊本市、北九州市を経て、現在は大分市で暮らし、はや約半世紀を迎えました。

私の故郷の思い出は、野山を駆け回り、春にはワラビ、つくし、せりを採り、堤の下の小川でシジミを採ったことです。シジミを採って帰ると両親がとても喜んでくれるのが嬉しくて、一人でよく小川に出かけたものでした。今では河川工事が進み昔の小川の姿が見えなくなっていました。

しかし、姿が変わらずいつも温かく迎えてくれるのが馬見山、屏山、古処山です。別名嘉穂アルプスと呼ばれているようですが、帰省途中の車窓に映る雄大な山並を見るとホッとします。

私が育ったころの足自小学校は1クラスでしたが、教室いっぱいになるくらいの人数でした。今はその小学校も統廃合でなくなり、大隈中学校、山田高校もなくなっています。一抹の寂しさを感じています。学校はなくなっても思い出では残っています。遠足の事は忘れられませんが、小学校は御手洗様、中学校では秋月まで行き、高校は大山へ行きました。今思えば、よく歩けたとつくづく思います。

平成の大合併で4市町が合併し、嘉麻市になると聞いた時はとても嬉しく思いました。いつも見ていた嘉麻川と同じ名前だったからです。故郷のことは頭から離れません。今年も大雨でエリアメールが鳴り続けていたと聞き心配していました。

私の故郷「嘉麻市」が今後も益々発展されることを祈念し、ペンを置きます。

編集後記



(おがわ)

猛暑の中、嘉麻市災害ボランティアセンターでは、延755人のボランティアさんが、25件のお宅で活動されました。P2では、ボランティアの原田耕二さんに寄稿してもらいました。



(ふじい)

炭鉱の記憶で取材した坂本弘之さんは、たくさんの資料や道具を手にとり、丁寧に教えて下さいました。その姿から、炭鉱の歴史を後世にも伝えていきたいという熱い思いが伝わってきました。



(いとう)

表紙は、漆生行政区の下黒田で行われた「まさめ相撲」の様子です。毎年、8月10日に開催されているため、別名「十日相撲」と言われています。笑いあり、涙ありの楽しい行事でした。



(うちだ)

今月のえがおで取材した大塚さんとは、嘉穂校区の商店で出会いました。話を聞くと、6月号に紹介した大屋アキエさんのお姉さんと知り、縁を感じました。



(やました)

尾浦第一元気クラブの出勤講座では、西日本豪雨の日の過ごし方を振り返りました。「きっと大丈夫だろう」という意識を変えなければいけないとの意見があがりました。



(やひろ)

今月の一冊では、心とからだをリラックスさせる方法について書かれた本を紹介しました。忙しい方でも気軽に取り入れられるため、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)、ポストカードセット(4枚組)をそれぞれ1名の方にプレゼントします。

問題

7月18日、尾浦第一行政区の出勤講座では、予定を変更して防災をテーマに話し合いました。いざという時にみなさんが避難できるように何の利用を望む声が聞かれたでしょうか。

(1)集会所 (2)空き家 (3)体育館

●応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、9月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

●送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会
E-mail:tiiki@kama.syakyo.com

●前号のクイズの答え

(2)ブログ

平成29年度地域福祉活動推進部門では、広報活動の推進において、広報紙「えがお」の発行、ホームページ、ブログを使って情報を発信しています。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

- ・表紙を見て、あらためて被害の大きさを実感し、助け合うことが大事だと思いました。
- ・炭鉱の記憶では、太刀洗飛行場が爆撃されたということを知りました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。